

その73 いくらで売れる？

春は新しいスタートを切る意味でも絶好の片付けシーズンです。今年こそは家の中をスッキリさせたいと思うなら、気候の良いこの時期から始める事をお勧めします。

さて、家の中を片付けるには、まずはモノを手放すが必要になってきますが、その方法には大きく分けて、①捨てる ②譲る ③売の三つがあります。

この中で三つ目の「売る」ということについては、少し注意が必要です。というのもモノを手放したい意思はあるのに、なかなか進まないという人の中には、売ることによってこだわり過ぎている場合があるからです。

スムーズにモノを手放したいのであれば、売って利益を出すことにこだわりすぎるのはお勧めできません。「どの方法が一番高く売れるか」を考え、そこに時間を費やしている限り、片付けは一向に進みません。

特に注意したいのが、自分にとって高かったもの。しかし実際に売るとなると、希望する価格よりかなり低いことがほとんどで「この値段で売るくらいなら、もったいないから取っておく」となってしまうかねません。そうこうしているうちに、ほとんどのモノが手放せなくなる悪循環に陥ってしまいます。

モノは人の手に渡った瞬間に中古となり、価格は落ちてゆくものです。自分にとっては高額だったかも知れませんが、他の人から見ればそれほどのものではないということを心得ておきましょう。そして出来れば売ること考えるのは、ある程度モノの総量が減ってからにしましょう。

モノは減った状態ではじめて、どの方法で売るのがいいのかを考える余裕が生まれるものです。

その74 暮らしの質を上げる

会社勤めに定年はあっても、毎日の生活の中での家事には定年がありませんから、歳を重ねるごとに、若い頃と同じように家事をこなすことが次第に難しくなり、重荷に感じることも増えてくることと思います。

日常的に行っている家事のやり方は、各家庭でそれぞれ違いがあり、もしかしたら、気づかぬままに無駄な家事を一生懸命やっているかもしれません。そこで、これまでの思い込みを一旦手放して、家事を楽にこなす工夫を考えてみませんか。

家事を楽にしたかったら『物を減らす』この一言につきます。そうすることで労力も軽減することができるのです。

たとえば、当然のことながら片付けが楽になります。物を減らし定位置さえ決めておけば、たとえ少しくらい散らかったとしても、簡単に元に戻すことができますし、物が少ない分ほこりもたまりにくく、たとえたまっている、いちいち除ける物がないので拭きやすくなります。

また掃除機をコードレスに変えたり、床には物を置かないようにすれば、かかる労力はずいぶん違ってきます。

毎日の食事作りも、あまり使わない調理器具や食器を減らせば、出し入れがスムーズになりますし、洗い物を減らそうと思えば、一つのお皿におかずを盛り切りにしてしまうという手もあります。また冷蔵庫の中も中身を全部把握できる位に限られた食材だけにおけば、献立を考えることもスムーズです。

物を減らし、家事を楽にすることで得られる効果は、単なる労力の軽減にとどまりません。生活がシンプルになれば余裕やゆとりが生まれます。余裕が生まれれば生活の質も上がり、豊かで快適な暮らしになることでしょう。